

あかあ!



この状況乗り越える決意を込めて団結ガンバロー

西部ブロック

目黒、渋谷、世田谷、新宿、中野、杉並

目黒 コロナ禍の拡大では 電話大作戦を提起

【目黒・書記・堀田祐子通信】4月5日、品川区のスクエア荏原にて目黒支部第63回定期大会を開催し代議員33人が参加しました。佐藤忍執行委員長より代議員へのねぎらいの言葉と最低限の確認をもって1年間の組合活動のスタートを切り、仲間との団結でこの状況乗り越えようと挨拶。本部佐藤豊副

千葉一朗書記長より重点課題の組織拡大については、新型コロナ拡散防止に努めつつ、電話大作戦が提起され、確認されました。新4役は次の通り。委員長

・佐藤忍。副委員長・岩城道昭、君塚広一、佐藤豊、佐藤義光、室井正則。書記長・千葉一郎。書記次長・日下解人、山本雅人。



コロナに負けずにガンバロー

渋谷 組織現勢1%実増など 3つの目標を決議

【渋谷・タイル・加藤和春記】渋谷支部定期大会は、緊急事態宣言を受け、代議員より委任状提出をされた上で4月19日に支部会館において、4役8人(うち2人LINE参加)で開催。主に次の3点を目指して2020年度も奮闘することを決議し、組織強化にチャレンジし、役員定数の欠員解消に向け力を入れます。最後に、渋谷区公契約条例例では、現場従事者の低賃金を改善し、豊かな地域社会の実現に向け、渋谷区でも関係者団体とシンポジウムなどの取り組み

世田谷 社会的地位向上めざし 実増を勝ちとろう

【世田谷・書記・近藤日登美通信】「社会基盤を支える私たち建設労働者の『社会的地位の向上』をめざし、地域から社会保障制度改善、産業民主化を推進し、組織実増を勝ち取ろう！」をスローガンに、4月19日、世田谷支部事務所にて第62回支部定期大会を開催しました。

算案について提案し、出席執行委員・代議員の10人、事前回収していた委任状102人分の承認から満場一致で採択しました。その後、大会表彰、分会並びに個人表彰、大会スローガンをそれぞれ確認し、選挙公報から新年度の役員を選出しました。最後に佐久間委員長より、今年度に向けた挨拶、団結ガンバローで閉会しました。



あいさつする佐久間委員長

杉並 公契約承認直後の大会 目標は実効性確保

【杉並・書記・喜多正之通信】4月5日、杉並支部は16人の役員・代議員(委任状提出者50人)が参加し支部会館で第71回定期大会を開催しました。

今年度は公契約審議会への参画等で条例の実効性確保をめざすこととなります。なお、大会には「新型コロナウイルス被書での自宅療養は共済の対象になるか」「泊大会の代替はないか」「テレワークや会議の体制は今後どうなるか」などの質問が寄せられました。新4役は次の通り。委員長

新宿 当日緊急で会議開催 独自貸付制度創設を議論

【新宿・書記・角谷美樹記】4月19日に支部会館で、10人の参加で第65回定期大会を開催しました。緊急事態宣言下のため、分会代議員のみならず、この先が見えない状態で、このままだと建設業廃業になる可能性がある。国に対して助

成対策等の支援をお願いしたいというものでした。当日、コロナ対策の緊急会議を開き、行政や業界への要求運動に取り組み、組合員の相談対応に全力をあげることに、一助として「新宿支部独自」緊急生活資金貸付制度の創設と運用開始について議論しました。新4役は次の通り。委員長

中野 週休2日制実現など 専門部ごとの課題確認

【中野・書記・上山将之通信】4月6日、中野支部は第66回定期大会を、当初の開催場を変更して開催しました。

時間を短縮して議事をすすめる中、「2021年度スタートの公契約条例の準備、年収720万円の要求賃金と週休2日制の実現」(賃金対策)、「耐震改



阿部委員長のあいさつ

修助成制度などの(改正令)法令周知、住宅デー成功と、まちの救助隊の拡大強化(仕事対策)、「建設国保の育成強化、組合員と家族の健康を守る、健康診断と個別健康サポートの推進」(社会保障対策)、「年間13%目標の組織拡大、分会と群の活性化、役員掘り起こし」(組織)など専門部ごとの重点課題なども確認しました。新4役は次の皆さんです。